

青年心理学

科目ナンバリング EDP-205

選択 2単位

藤尾 未由希

1. 授業の概要(ねらい)

青年期とは、他者を参照しながら自分自身のこれまでの体験をふり返り、これから先自分がどのように生きていきたいかを模索する時期である。本講義では、青年期の心理社会的特徴に関する理論が、現在に至るまでどのように発展してきたか学んでいく。また、グループディスカッションやペアワークを通して、自分自身や他者の「青年期」の体験を振り返り、青年心理についての理解を深めることを目指す。

2. 授業の到達目標

- ①青年期の心理的特徴および心理発達に関する基礎的知識や法則を理解し、説明することができる。
- ②青年期に生じる様々な心理的問題および支援方法を理解した上で、多角的な視点で、課題について考えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①期末レポート:50%
- ②各授業回に実施する小テストまたは課題:50%

4. 教科書・参考文献

参考文献

白井 利明 よくわかる 青年心理学[第2版] ミネルヴァ書房
大野 久 エピソードでつかむ青年心理学 ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

- ・配布プリントの内容を予習復習し、基本用語を覚える。
- ・授業時に提示する小テストまたは課題をおこなう。

6. その他履修上の注意事項

授業においては、他受講生に迷惑をかけることはおこなわないようにしてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 青年期における認知の発達
- 【第3回】 青年期における感情の発達
- 【第4回】 青年期における社会性の発達
- 【第5回】 青年期における身体発達と心理的影響
- 【第6回】 自己意識とアイデンティティの発達
- 【第7回】 中間まとめ(オンライン)
- 【第8回】 青年期の家族関係
- 【第9回】 青年期の友人関係
- 【第10回】 青年期におけるキャリア選択
- 【第11回】 青年期における心理的問題①—精神障害・発達障害
- 【第12回】 青年期における精神障害・発達障害への支援
- 【第13回】 青年期における心理的問題②—不登校・ひきこもり
- 【第14回】 不登校・ひきこもりへの支援
- 【第15回】 まとめ